

2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月15日

上場会社名 株式会社あかつき本社 上場取引所 東
コード番号 8737 URL https://www.akatsuki-fg.com/
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島根 秀明
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員社長室長 (氏名) 北野 道弘 TEL 03-6821-0606
定時株主総会開催予定日 2024年6月26日 配当支払開始予定日 2024年6月27日
有価証券報告書提出予定日 2024年6月26日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		純営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	46,681	18.7	19,839	33.2	3,419	89.6	3,813	161.6	2,538	225.1
2023年3月期	39,336	11.4	14,893	△10.6	1,803	14.9	1,457	18.6	780	△22.5

(参考) 税金等調整前当期純利益 2024年3月期 3,768百万円 (156.4%) 2023年3月期 1,470百万円 (3.4%)

(注) 包括利益 2024年3月期 2,639百万円 (179.7%) 2023年3月期 943百万円 (△4.8%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	営業収益 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	82.83	-	16.7	4.7	7.3
2023年3月期	25.42	-	5.5	2.2	4.6

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 △7百万円 2023年3月期 △10百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	92,130	16,749	17.5	528.99
2023年3月期	69,275	14,857	20.6	464.72

(参考) 自己資本 2024年3月期 16,136百万円 2023年3月期 14,304百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	817	△771	10,783	22,235
2023年3月期	△474	51	△631	11,406

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	-	9.50	-	9.50	19.00	645	74.7	4.1
2024年3月期	-	9.50	-	11.50	21.00	713	25.4	4.2
2025年3月期(予想)	-	11.00	-	11.00	22.00		25.8	

※当該「純資産配当率(連結)」は、年間1株当たり配当金の、期首と期末の1株当たり純資産の平均値に対する比率です。当社は、財務的な健全性を損なわない限りにおいて、同指標について、最低でも4.0%を維持することに努めております。

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,000	11.4	4,100	19.9	4,200	10.1	2,600	2.4	85.24

※参考情報として「税金等調整前当期純利益連結業績予想」も開示します。

税金等調整前当期純利益：4,200百万円（対前期増減率：11.4%）

（注）詳細は、添付資料「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）合同会社まつのき、除外 1社 （社名）－

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期	34,029,544株	2023年3月期	34,029,544株
② 期末自己株式数	2024年3月期	3,525,925株	2023年3月期	3,248,074株
③ 期中平均株式数	2024年3月期	30,649,295株	2023年3月期	30,722,892株

期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、E S O P信託口及びB B T信託口が所有しております当社株式を含めております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されております業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手しております情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	5
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	5
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	6
3. 連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 連結貸借対照表	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	9
(連結損益計算書)	9
(連結包括利益計算書)	11
(3) 連結株主資本等変動計算書	12
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	14
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	16
(継続企業の前提に関する注記)	16
(セグメント情報)	16
(1株当たり情報)	19
(重要な後発事象)	19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度（2023年4月1日から2024年3月31日まで）において、当社グループは各セグメントにおいて以下のような取り組みを行ってまいりました。

（証券関連事業）

あかつき証券㈱では、提携 I F A に対する人的サポート体制の充実を軸に、システム面での利便性向上や商品ラインナップの拡充などを通じた事業基盤強化に努めています。システム面では、I F A の取引プラットフォームである I F A ポータルの改善や新機能追加を継続的に進めており、昨年6月に「外国債券売買システム」、及び9月に「外国債券ポートフォリオシステム」をリリースし、外国債券のポートフォリオの構築から、顧客向け提案資料の作成、発注、残高管理に至るまでの業務をシームレスに完結することが可能となりました。商品面では、新 N I S A 制度の対象銘柄を中心に取扱銘柄の拡大を図り、本年3月末時点の取扱銘柄数は621銘柄となっています。

金融機関とのアライアンスについては、昨年12月に熊本中央信用金庫、本年3月に天草信用金庫と業務提携契約を締結し、これにより3月末時点の提携金融機関数は8行へと拡大しました。今後も金融機関とのアライアンスの強化を推進し、顧客基盤の強化と販売チャネルの拡大を進めて参ります。

結果として2024年3月末の契約仲介業者外務員数は1,678名（2023年3月末比231名増）、子会社のジャパンウェルズアドバイザーズ㈱（金融商品仲介業者）の提携金融機関における管理資産残高を含めた預り資産残高は5,576億円（同1,575億円増）、I F A 部門の預り資産残高は3,138億円（同980億円増）と拡大しました。

（証券関連事業の営業収益及びセグメント利益）

（単位：百万円）

	2023年3月期 連結会計年度	2024年3月期 連結会計年度	増減率
営業収益	9,602	14,521	51.2%
セグメント利益	179	1,708	850.7%

（不動産関連事業）

中古マンションの買取再販を行う㈱マイプレイスは、営業人員の拡大と仲介会社との連携強化を通じた、首都圏エリア（東京・神奈川・千葉・埼玉）における取引拡大に努めています。今後、新たに近畿圏エリアを担当する大阪営業部（大阪府大阪市）を設け取引機会の拡大を図ります。

当連結会計年度においては、仕入戸数は765戸（前年同期は694戸）、販売戸数は728戸（同632戸）の取引実績となりました。また、リノベーションの設計・施工を手掛ける㈱パウテックグループにおいては、完工数が893戸（前年同期は857戸）と安定して推移しました。

高齢者施設開発を手掛ける E W アセットマネジメント㈱は、昨年5月に神奈川県横須賀市の施設を、昨年10月に大阪府枚方市の施設をそれぞれ売却しました。新規開発については、昨年6月に福岡県福岡市において新たに有料老人ホーム開発用地を取得し、昨年5月に東京都杉並区に建設予定の有料老人ホームの土地建物取得に係る売買契約を締結し、本年3月より「NEXT-LD新高円寺」をオープンしております。これにより、2024年3月末現在で稼働中の施設は2件、開発中の施設は2件となりました。

業績面では、中古マンションの再販において販売戸数が増加したことで営業収益は増収となりましたが、戸当たりの利益率が低下したことで、セグメント利益は前年同期並みとなりました。また、高齢者施設の売却が寄与し、不動産関連事業全体としては増収・増益となりました。

（不動産関連事業の営業収益及びセグメント利益）

（単位：百万円）

	2023年3月期 連結会計年度	2024年3月期 連結会計年度	増減率
営業収益	30,013	32,414	8.0%
セグメント利益	2,536	2,539	0.1%

これらの結果、当社グループの当連結会計期間の連結業績は以下のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	2023年3月期 連結会計年度	2024年3月期 連結会計年度	増減率
営業収益	39,336	46,681	18.7%
営業利益	1,803	3,419	89.6%
経常利益	1,457	3,813	161.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	780	2,538	225.1%

(補足情報)

I. あかつき証券㈱、ジャパンウェルスアドバイザーズ㈱、トレード・サイエンス㈱

あかつき証券㈱は、リテール営業に加え、戦略的にIFAビジネスの強化、地域金融機関との提携、AI・フintekを活用したアドバイスカの強化を進めております。中でも2014年から本格参入しているIFAビジネスは拡大傾向にあります。なお、以下はあかつき証券㈱に同子会社であるジャパンウェルスアドバイザーズ㈱及びトレード・サイエンス㈱を連結した補足情報です。

(a) 経営成績（四半期会計期間毎）

(単位：百万円)

	2023年3月期				2024年3月期			
	1Q (4~6月)	2Q (7~9月)	3Q (10~12月)	4Q (1~3月)	1Q (4~6月)	2Q (7~9月)	3Q (10~12月)	4Q (1~3月)
営業収益	2,355	2,524	2,239	2,475	3,155	3,633	3,530	4,161
営業利益	△117	86	24	182	373	407	393	496
経常利益	△97	97	23	182	450	513	473	610
当期純利益	△48	64	△15	116	305	357	297	410

(b) 預り資産

(単位：百万円)

	2023年3月期				2024年3月期			
	1Q (6月末)	2Q (9月末)	3Q (12月末)	4Q (3月末)	1Q (6月末)	2Q (9月末)	3Q (12月末)	4Q (3月末)
預り資産	379,748	378,366	384,218	400,124	446,635	466,990	487,831	557,641
(うちIFA)	192,278	204,090	205,016	215,880	245,670	262,513	280,585	313,897

(注) あかつき証券㈱とジャパンウェルスアドバイザーズ㈱の提携金融機関における管理資産残高の合計となっております。

(c) 契約外務員数

	2023年3月期				2024年3月期			
	1Q (6月末)	2Q (9月末)	3Q (12月末)	4Q (3月末)	1Q (6月末)	2Q (9月末)	3Q (12月末)	4Q (3月末)
契約 外務員数 (人数)	1,239	1,342	1,416	1,447	1,463	1,528	1,587	1,678

Ⅱ. ㈱マイプレイス、㈱バウテックグループ、㈱マイプランナー

㈱マイプレイスは、東京都及び神奈川県を中心とした首都圏において、住宅一次取得者層向けの中古マンション事業を行っておりますが、①賃借人なしの空室中古マンションを購入後、直ちにリノベーションを施し売却するケース(以下「タイプA」といいます。)と、②賃借人付の中古マンションを購入後、一定期間賃料収入を得、賃借人の退去後にリノベーションを施し売却するケース(以下「タイプB」といいます。)があります。また、㈱バウテックグループは、㈱マイプレイス及び外部の買取再販事業者向けにリノベーションの設計・施工サービスを提供しております。なお、以下は㈱マイプレイス、㈱バウテックグループ及び㈱マイプランナーを連結した補足情報であり、3社間の内部取引を消去したものであります。

(a) 経営成績 (四半期会計期間毎)

(単位：百万円)

	2023年3月期				2024年3月期			
	1Q (4~6月)	2Q (7~9月)	3Q (10~12月)	4Q (1~3月)	1Q (4~6月)	2Q (7~9月)	3Q (10~12月)	4Q (1~3月)
売上高	5,197	5,849	7,229	7,587	5,432	7,516	8,662	8,052
営業利益	510	459	581	584	381	469	669	606
経常利益	443	394	485	644	557	417	660	587
当期純利益	306	274	375	450	347	311	446	399

(b) 中古マンションの仕入状況 (四半期会計期間毎。カッコ内は前年同四半期会計期間との増減。) (単位：戸)

	2023年3月期				2024年3月期			
	1Q (4~6月)	2Q (7~9月)	3Q (10~12月)	4Q (1~3月)	1Q (4~6月)	2Q (7~9月)	3Q (10~12月)	4Q (1~3月)
タイプA	144 (+36)	174 (+34)	139 (+21)	154 (+5)	134 (△10)	171 (△3)	202 (+63)	191 (+37)
タイプB	15 (△38)	22 (△5)	17 (△45)	29 (△9)	15 (+0)	20 (△2)	9 (△8)	23 (△6)
合計	159 (△2)	196 (+29)	156 (△24)	183 (△4)	149 (△10)	191 (△5)	211 (+55)	214 (+31)

(c) 中古マンションの販売状況 (四半期会計期間毎。カッコ内は前年同四半期会計期間との増減。) (単位：戸)

	2023年3月期				2024年3月期			
	1Q (4~6月)	2Q (7~9月)	3Q (10~12月)	4Q (1~3月)	1Q (4~6月)	2Q (7~9月)	3Q (10~12月)	4Q (1~3月)
販売戸数	127 (△37)	148 (+8)	184 (+33)	173 (+21)	134 (+7)	187 (+39)	213 (+29)	194 (+21)

(d) 中古マンションの在庫状況 (四半期会計期間末)

(単位：戸)

	2023年3月期				2024年3月期			
	1Q (6月末)	2Q (9月末)	3Q (12月末)	4Q (3月末)	1Q (6月末)	2Q (9月末)	3Q (12月末)	4Q (3月末)
タイプA	317	389	380	394	411	429	447	473
タイプB	499	475	456	452	450	436	416	410
合計	816	864	836	846	861	865	863	883

(e) ㈱バウテックグループによるリノベーション完工数 (四半期会計期間毎)

(単位：戸)

	2023年3月期				2024年3月期			
	1Q (4~6月)	2Q (7~9月)	3Q (10~12月)	4Q (1~3月)	1Q (4~6月)	2Q (7~9月)	3Q (10~12月)	4Q (1~3月)
㈱マイプレイス向け	157	170	178	166	157	195	196	173
外販	46	50	52	38	40	51	42	39
合計	203	220	230	204	197	246	238	212

(注) 外販とは、外部の買取再販業者向けの設計・施工サービスとなります。

(2) 当期の財政状態の概況

①資産の状況

当連結会計年度末の資産合計は92,130百万円となり、前連結会計年度末に比べ22,855百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が10,769百万円、預託金が8,962百万円、販売用不動産が1,537百万円増加し、のれんが215百万円減少したことによるものであります。

②負債の状況

当連結会計年度末の負債合計は75,381百万円となり、前連結会計年度末に比べ20,962百万円の増加となりました。これは主に、短期借入金が11,702百万円、預り金が11,148百万円、未払法人税等が825百万円増加し、信用取引借入金が2,024百万円、ノンリコース1年内返済予定長期借入金が705百万円、ノンリコース長期借入金が309百万円減少したことによるものであります。

③純資産の状況

当連結会計年度末の純資産合計は16,749百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,892百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が1,893百万円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は22,235百万円となり、前連結会計年度末に比べ10,829百万円の増加となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは817百万円の収入（前連結会計年度は474百万円の支出）となりました。主な資金支出要因は、預託金の増減額を△8,962百万円、販売用不動産の増減額を△1,537百万円計上したこととあります。また、主な資金獲得要因は、税金等調整前当期純利益を3,768百万円、立替金及び預り金の増減額を11,142百万円計上したこととあります。

投資活動によるキャッシュ・フローは771百万円の支出（前連結会計年度は51百万円の収入）となりました。主な資金獲得要因は、投資有価証券の償還による収入を83百万円、貸付金の回収による収入を26百万円計上したこととあります。また、主な資金支出要因は、貸付による支出を△485百万円、投資有価証券の取得による支出を△354百万円計上したこととあります。

財務活動によるキャッシュ・フローは10,783百万円の収入（前連結会計年度は631百万円の支出）となりました。主な資金支出要因は、社債の償還による支出を△7,000百万円、長期借入金の返済による支出を△1,998百万円、ノンリコース長期借入金の返済による支出を△1,014百万円計上したこととあります。また、主な資金獲得要因は、短期借入金の純増減額を11,702百万円、社債の発行による収入を6,996百万円、長期借入れによる収入を2,328百万円計上したこととあります。

(4) 今後の見通し

①2025年3月期の連結業績予想について

・証券関連事業

足元のIFAビジネスを中心とした資金導入は近年のトレンドが継続し基盤となる預り資産は増加するものの、前期好調であったマーケット環境から平時に戻ると想定し、利益は前期と同水準を想定しております。

・不動産関連事業

中古マンション買取再販・リノベーション事業では、実需としての中古マンションの仕入数・販売戸数の拡大により増収、増益を見込んでおります。

高齢者施設開発事業では、保有物件の一部売却を想定しております。

(単位：百万円。％表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		税金等調整前 当期純利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
通期	52,000	11.4	4,100	19.9	4,200	10.1	4,200	11.4	2,600	2.4

② 5か年経営数値目標について

2023年5月15日付「5か年経営数値目標の見直しに関するお知らせ」において開示しました、5か年経営数値目標(2022年3月期から2026年3月期まで)につきまして、連結ベースの計数目標値である配当・自己株式取得等の還元前株主資本230億円に対しての2024年3月期における実績値は181億円(2021年3月期末株主資本137億からの累積利益は44億円)であり、計画値を上回り推移しております。また、主要グループ会社の計数目標値に対する2024年3月期実績値は下表のとおりです。なお、各計数値が目標値を上回る見込みとなった場合は、適宜、上方修正を行う予定です。

	2024年3月期 実績	2026年3月期 目標
証券ビジネス (あかつき証券グループ)	預り資産：5,576億円 親会社株主利益：13億円	預り資産：7,000億円 親会社株主利益：15億円
不動産ビジネス (株)マイプレイス・(株)パウテックグループ)	販売戸数：728戸 親会社株主利益：15億円	販売戸数：1,000戸超 親会社株主利益：20億円
不動産ビジネス (EWアセットマネジメント株)	累計開発件数：13件 (開発中2件) ※稼働物件の取得2件含む。	累計開発件数：15件

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準(IFRS)の適用につきましては、外国人株主比率の推移や国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,246,935	23,016,490
預託金	15,537,660	24,500,000
トレーディング商品	240,937	195,129
約定見返勘定	570,586	1,201,346
信用取引資産	4,039,511	4,218,658
信用取引貸付金	3,782,625	3,969,879
信用取引借証券担保金	256,886	248,778
差入保証金	584,088	747,489
販売用不動産	27,209,099	28,746,214
その他	1,762,825	2,090,031
流動資産計	62,191,643	84,715,360
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,231,815	1,200,097
減価償却累計額	△634,177	△665,125
建物及び構築物 (純額)	597,637	534,972
土地	169,398	169,201
その他	648,328	696,003
減価償却累計額	△524,212	△532,678
その他 (純額)	124,115	163,324
有形固定資産合計	891,152	867,497
無形固定資産		
のれん	1,129,952	914,723
その他	398,273	391,281
無形固定資産合計	1,528,225	1,306,004
投資その他の資産		
投資有価証券	3,850,212	3,973,482
その他	1,006,463	1,459,997
貸倒引当金	△192,258	△191,582
投資その他の資産合計	4,664,417	5,241,897
固定資産計	7,083,795	7,415,400
資産合計	69,275,438	92,130,760

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
トレーディング商品	203,887	—
信用取引負債	3,444,174	1,450,054
信用取引借入金	3,083,569	1,058,948
信用取引貸証券受入金	360,604	391,106
預り金	14,131,810	25,279,828
受入保証金	1,123,124	936,639
短期社債	7,000,000	7,000,000
短期借入金	13,918,599	25,620,650
1年内返済予定の長期借入金	953,448	1,497,826
ノンリコース1年内返済予定長期借入金	725,220	20,000
未払法人税等	265,210	1,090,231
その他	2,675,935	2,876,707
流動負債計	44,441,410	65,771,938
固定負債		
長期借入金	6,709,788	6,495,576
ノンリコース長期借入金	1,254,760	945,000
退職給付に係る負債	230,157	244,879
役員株式給付引当金	1,081,651	1,129,161
その他	672,884	743,691
固定負債計	9,949,241	9,558,309
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	27,599	50,908
特別法上の準備金計	27,599	50,908
負債合計	54,418,251	75,381,156
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,665,452	5,665,452
資本剰余金	3,124,529	3,121,423
利益剰余金	6,725,209	8,618,799
自己株式	△1,227,367	△1,369,804
株主資本合計	14,287,823	16,035,870
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,489	100,385
為替換算調整勘定	12,343	—
その他の包括利益累計額合計	16,832	100,385
新株予約権	9,529	9,529
非支配株主持分	543,000	603,818
純資産合計	14,857,186	16,749,604
負債・純資産合計	69,275,438	92,130,760

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業収益		
受入手数料	3,395,878	6,100,590
トレーディング損益	5,863,427	8,062,516
金融収益	64,517	104,946
不動産事業売上高	30,012,528	32,413,691
営業収益計	39,336,351	46,681,744
金融費用	24,507	80,749
売上原価		
不動産事業売上原価	24,417,869	26,761,676
売上原価合計	24,417,869	26,761,676
純営業収益	14,893,974	19,839,317
販売費及び一般管理費		
取引関係費	5,363,516	8,040,286
人件費	3,903,639	4,419,535
不動産関係費	457,673	398,847
事務費	591,132	826,015
減価償却費	184,529	161,059
租税公課	453,687	416,001
販売手数料	601,669	696,752
のれん償却額	218,548	215,568
その他	1,316,450	1,245,973
販売費及び一般管理費合計	13,090,847	16,420,040
営業利益	1,803,126	3,419,277
営業外収益		
受取利息	4,573	379,926
投資事業組合運用益	104,040	371,957
不動産取得税還付金	56,173	73,455
受取配当金	61,578	79,376
受取地代家賃	9,599	9,599
その他	76,365	104,223
営業外収益合計	312,329	1,018,538
営業外費用		
支払利息	427,069	439,714
支払手数料	174,943	123,303
その他	55,663	61,149
営業外費用合計	657,676	624,166
経常利益	1,457,780	3,813,648

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
特別利益		
固定資産売却益	61,972	57
特別利益合計	61,972	57
特別損失		
金融商品取引責任準備金繰入れ	3,492	23,308
固定資産除却損	37,204	7,379
減損損失	8,903	—
関係会社株式評価損	—	14,243
特別損失合計	49,599	44,931
税金等調整前当期純利益	1,470,152	3,768,774
法人税、住民税及び事業税	580,296	1,421,170
法人税等調整額	△50,577	△208,674
法人税等合計	529,719	1,212,495
当期純利益	940,433	2,556,278
非支配株主に帰属する当期純利益	159,487	17,481
親会社株主に帰属する当期純利益	780,945	2,538,796

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	940,433	2,556,278
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,350	95,895
持分法適用会社に対する持分相当額	887	△12,343
その他の包括利益合計	3,238	83,552
包括利益	943,671	2,639,830
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	784,184	2,622,348
非支配株主に係る包括利益	159,487	17,481

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,665,452	3,131,156	6,555,544	△1,274,558	14,077,595
当期変動額					
剰余金の配当			△611,280		△611,280
親会社株主に帰属する当期純利益			780,945		780,945
自己株式の取得				△442	△442
自己株式の処分		△6,626		47,632	41,006
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計		△6,626	169,665	47,190	210,228
当期末残高	5,665,452	3,124,529	6,725,209	△1,227,367	14,287,823

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の包括利 益累計額合計			
当期首残高	2,138	11,455	13,594	9,529	671,573	14,772,293
当期変動額						
剰余金の配当						△611,280
親会社株主に帰属する当期純利益						780,945
自己株式の取得						△442
自己株式の処分						41,006
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	2,350	887	3,238	—	△128,573	△125,335
当期変動額合計	2,350	887	3,238	—	△128,573	84,893
当期末残高	4,489	12,343	16,832	9,529	543,000	14,857,186

当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,665,452	3,124,529	6,725,209	△1,227,367	14,287,823
当期変動額					
剰余金の配当			△645,206		△645,206
親会社株主に帰属する当期純利益			2,538,796		2,538,796
自己株式の取得				△200,875	△200,875
自己株式の処分		△3,106		58,438	55,332
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	△3,106	1,893,590	△142,436	1,748,046
当期末残高	5,665,452	3,121,423	8,618,799	△1,369,804	16,035,870

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	4,489	12,343	16,832	9,529	543,000	14,857,186
当期変動額						
剰余金の配当						△645,206
親会社株主に帰属する当期純利益						2,538,796
自己株式の取得						△200,875
自己株式の処分						55,332
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	95,895	△12,343	83,552		60,818	144,370
当期変動額合計	95,895	△12,343	83,552	—	60,818	1,892,417
当期末残高	100,385	—	100,385	9,529	603,818	16,749,604

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,470,152	3,768,774
減価償却費	208,450	183,147
のれん償却額	218,548	215,568
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△716	△676
賞与引当金の増減額 (△は減少)	43,364	120,643
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	80,143	47,509
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	961	14,722
投資有価証券売却損益 (△は益)	39	△466
関係会社株式評価損	—	14,243
固定資産売却損益 (△は益)	△61,972	△57
受取利息及び受取配当金	△66,151	△459,302
支払利息	427,069	439,714
差入保証金の増減額 (△は増加)	△232,842	△163,401
預託金の増減額 (△は増加)	△2,355,520	△8,962,340
トレーディング商品の増減額	679,286	△158,080
販売用不動産の増減額 (△は増加)	△2,108,912	△1,537,115
約定見返勘定の増減額 (△は増加)	△514,683	△630,760
信用取引資産及び信用取引負債の増減額	303,324	△2,173,266
立替金及び預り金の増減額	1,499,960	11,142,983
受入保証金の増減額 (△は減少)	449,770	△186,485
その他	149,187	△116,144
小計	189,459	1,559,210
利息及び配当金の受取額	68,668	415,335
利息の支払額	△438,163	△493,507
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△294,077	△663,554
営業活動によるキャッシュ・フロー	△474,113	817,483

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,030,800	△1,020,826
定期預金の払戻による収入	1,030,782	1,020,813
有形固定資産の取得による支出	△178,248	△16,676
有形固定資産の売却による収入	389,355	60
無形固定資産の取得による支出	△201,162	△71,333
投資有価証券の取得による支出	△751,510	△354,807
投資有価証券の売却による収入	19,271	26,880
投資有価証券の償還による収入	649,961	83,464
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による 支出	△2,601	—
貸付けによる支出	△27,000	△485,468
貸付金の回収による収入	135,605	26,157
その他	18,230	20,289
投資活動によるキャッシュ・フロー	51,883	△771,446
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,127,050	11,702,051
長期借入れによる収入	2,688,490	2,328,600
長期借入金の返済による支出	△5,247,065	△1,998,434
ノンリコース長期借入れによる収入	770,000	—
ノンリコース長期借入金の返済による支出	△1,050,720	△1,014,980
社債の発行による収入	6,995,340	6,996,040
社債の償還による支出	△7,000,000	△7,000,000
自己株式の取得による支出	△442	△200,875
配当金の支払額	△611,280	△645,206
非支配株主からの払込みによる収入	—	643,000
非支配株主への配当金の支払額	△289,013	△11,401
その他	△14,143	△15,304
財務活動によるキャッシュ・フロー	△631,786	10,783,489
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,054,017	10,829,526
現金及び現金同等物の期首残高	12,460,397	11,406,380
現金及び現金同等物の期末残高	11,406,380	22,235,906

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、「証券関連事業」及び「不動産関連事業」を報告セグメントとしており、「証券関連事業」は有価証券の売買等及び売買等の委託の媒介、有価証券の引き受け及び売出し、有価証券の募集及び売出しの取り扱い等を、「不動産関連事業」は、主に不動産の売買、賃貸、及び不動産関連金融商品への投資に関するアセットマネジメントを行っております。

2. 報告セグメントごとの営業収益、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益又は損失は、営業利益又は営業損失ベースの数値であります。

セグメント間の内部営業収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの営業収益、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額(注) 2
	証券関連事業	不動産 関連事業			
営業収益					
外部顧客に対する 営業収益	9,323,823	30,012,528	39,336,351	—	39,336,351
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	279,166	1,130	280,297	△280,297	—
計	9,602,990	30,013,658	39,616,649	△280,297	39,336,351
セグメント利益	179,737	2,536,626	2,716,364	△913,237	1,803,126
セグメント資産	27,280,513	36,507,945	63,788,458	5,486,980	69,275,438
その他の項目					
減価償却費	116,249	86,791	203,041	5,457	208,498
のれん償却額	3,319	215,228	218,548	—	218,548
のれん未償却額	—	1,129,952	1,129,952	—	1,129,952
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	293,528	122,219	415,748	24,584	440,332

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△913,237千円には、セグメント間取引消去△279,166千円、全社費用△634,070千円が含まれております。なお、セグメント間取引消去は主に当社とあかつき証券㈱との間での社債関連手数料の消去であり、全社費用は主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

(2) セグメント資産の調整額5,486,980千円には、投資と資本の相殺消去等△10,763,144千円、債権と債務の相殺消去△3,196,827千円、貸倒引当金の消去101,291千円、及び全社資産19,345,660千円が含まれております。

(3) 減価償却費の調整額5,457千円は、報告セグメントに帰属しない減価償却費です。

(4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額は、全社資産の増加額であります。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額(注) 2
	証券関連事業	不動産 関連事業			
営業収益					
外部顧客に対する 営業収益	14,268,053	32,413,691	46,681,744	—	46,681,744
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	253,480	1,266	254,746	△254,746	—
計	14,521,533	32,414,958	46,936,491	△254,746	46,681,744
セグメント利益	1,708,797	2,539,407	4,248,204	△828,927	3,419,277
セグメント資産	47,420,534	40,069,363	87,489,898	4,640,862	92,130,760
その他の項目					
減価償却費	100,627	77,336	177,964	5,183	183,147
のれん償却額	—	215,568	215,568	—	215,568
のれん未償却額	—	914,723	914,723	—	914,723
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	△34,622	△206,416	△241,038	△4,836	△245,874

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△828,927千円には、セグメント間取引消去△253,480千円、全社費用△575,447千円が含まれております。なお、セグメント間取引消去は主に当社とあかつき証券㈱との間での社債関連手数料の消去であり、全社費用は主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。
 - (2) セグメント資産の調整額4,640,862千円には、投資と資本の相殺消去等△12,021,921千円、債権と債務の相殺消去△3,202,848千円、貸倒引当金の消去17,293千円、及び全社資産19,848,339千円が含まれております。
 - (3) 減価償却費の調整額5,183千円は、報告セグメントに帰属しない減価償却費です。
 - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額は、全社資産の増加額であります。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

本邦の外部顧客への営業収益が、連結損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

特定の顧客への営業収益が損益計算書の売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

本邦の外部顧客への営業収益が、連結損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

特定の顧客への営業収益が損益計算書の売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

証券関連事業において、8,903千円の減損損失を計上しております。

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

当連結会計年度及び当連結会計年度末において、負ののれん償却額及び負ののれんの未償却残高はありません。また、のれん償却額及びのれん未償却残高に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

当連結会計年度及び当連結会計年度末において、負ののれん償却額及び負ののれんの未償却残高はありません。また、のれん償却額及びのれん未償却残高に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	464.72円	528.99円
1株当たり当期純利益金額	25.42円	82.83円

(注) 1. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額 (千円)	780,945	2,538,796
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	
普通株式に係る親会社株主に帰属する当 期純利益金額(千円)	780,945	2,538,796
普通株式の期中平均株式数(千株)	30,722	30,649

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	14,857,186	16,749,604
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	552,530	613,348
(うち非支配株主持分(千円))	(543,000)	(603,818)
(うち新株予約権(千円))	(9,529)	(9,529)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	14,304,656	16,136,255
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(千株)	30,781	30,503

4. BBT信託口が保有する当社の株式は、1株当たり当期純利益金額の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。1株当たり当期純利益金額の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は、前連結会計年度においては、ESOP信託口36千株、BBT信託口3,200千株であり、当連結会計年度においては、BBT信託口3,308千株であります。

また、1株当たり純資産額の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております。1株当たり純資産額の算定上、控除した当該自己株式の株式数は、前連結会計年度末においては、BBT信託口3,177千株であり、当連結会計年度末における株式数は、BBT信託口3,452千株であります。

ESOP信託口は制度の廃止に伴い、前連結会計年度末時点におけるの保有株式数はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。